

福島県議会議員

佐藤 よしのり

平成31年2月 県議会 定例会

県政報告 第5号

所属/福祉公安委員会



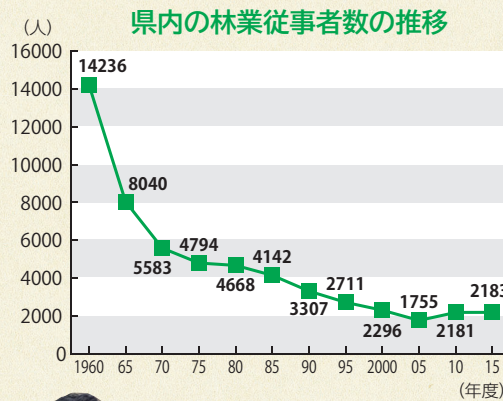
県議会での2年間の主張が実る

● 林業アカデミー開設へ!!

● 児童相談所の体制強化へ
相談所への教職員派遣を提案

林業の担い手確保と育成について

森林の面積が県土の7割を占める本県にとって、森林資源の有効活用と経営体の健全化が喫緊の課題となっています。また、近年多発する集中豪雨等による土砂災害への備えとしても、造林・育林による管理が山間部の防災や減災対策に有効となることが示されています。そのためには、林業経営はもとより森林保護の在り方などの幅広い知識を有する中心的人材の育成が不可欠となります。



これまでの2年間、県議でただ一人、本県林業の再生と活性化、さらに成長産業分野へとリードする人材養成機関の必要性を主張し続けて参りました。

昨年6月定例会の私の一般質問では、県政史上初めて県立の林業アカデミーあるいは林業大学校の設置を求め、今回の2月定例会総括審査会では、さらに一歩踏み込んだ質問によって農林水産部長からの答弁を引き出し、各報道の一面トップの見出しに「県、林業アカデミー開設へ」として報じられる成果を挙げることができました。

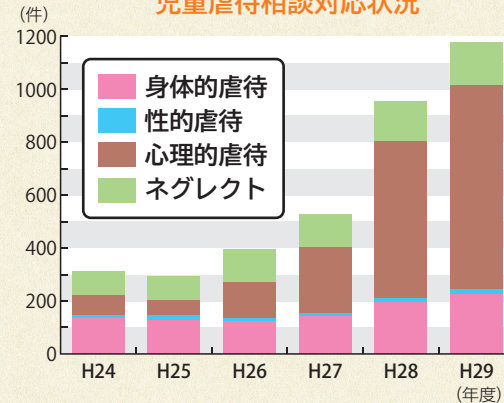
今後は、人口減少が著しい会津地域に対して、高校を卒業した若者の流出に歯止めをかける施策となるよう「林業アカデミー（仮称）」の誘致あるいは実習訓練機能の設置に向けて活動を展開して参ります。

林業アカデミー開設へ
不担い手 県資格取得を支援

児童相談所の体制強化について

児童虐待件数は、本県でも年々増加傾向にあります。その対策として、新年度、福島県警は児童相談所に警察官を派遣することとし、県では児童相談所職員OBの活用や児相でのインターンシップ実習生の受入等により、児童福祉司の計画的な増員を図るとしております。

福島県内の児童相談所における児童虐待相談対応状況

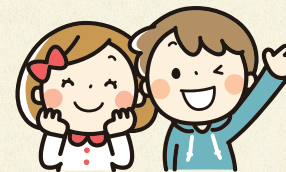


私は、2月定例会前に会津児童相談所に訪れ、話を伺いました。その業務は幅広い知識と経験を伴わねばならず、職員OBの再任用はともかく実習生から児童福祉司への育成は、時間と労力あるいは様々な面で非常にハードルが高いことは想像に難くありません。

そこで、今回の総括審査会では、先進県の取組を参考に、警察官と同様、福祉領域の資格を保有する教職員を児童相談所へ出向できる制度を整えて、互いの業務内容への理解、組織連携の強化を図るべきではないかと質しました。

保健福祉部長からは、今後、教員を児童相談所に配置している県に対して、その相談対応の状況や教員の配置に関する課題及び効果について調査していくとの答弁を得ました。

この度、自民党議員会に設置された「児童虐待防止等条例制定に関するプロジェクトチーム」の一員となりましたので、引き続き問題解決に向けた提言を図って参ります。



総括審査会では、一問一答形式による執行部側とのやり取りで答弁を求めます。

福島県議会では、本会議で審議を尽くせなかった問題、あるいは2つ以上の常任委員会にまたがる問題等について質問・質疑を行うため、2月と9月の定例会にて総括審査会が実施されます。今回は、会派を代表して、初の総括審査会(3月18日実施)に臨みました。

県政の課題に対する答弁を求め、これから県が取り組まなければならない政策や解決が必要な問題点について鋭く指摘をいたしました。

○その他の総括審査会での質問

- ◆障がい者や高齢者などの避難行動要支援者の避難対策について
- ◆多機能化を求められる消防指令センターの共同運用について
- ◆骨髄ドナー候補者の経済的な負担を軽減する各種支援事業の普及について
- ◆自動体外式除細動器(AED)の設置状況と普及および利用促進策について
- ◆様々な地域課題の解決に向けた県内企業との包括連携協定の活用について
- ◆児童生徒への虐待に対する教育関係機関の対応力の強化について

総括審査会の模様は「福島県議会」のホームページにてご覧いただけます。

連絡先 佐藤よしのり事務所

〒965-0042 福島県会津若松市大町二丁目9-4-1F

TEL 0242-36-7015
FAX 0242-36-7016

福島県 佐藤よしのり

検索



HP



TW



FB